DX超合金
GE-63

マクロス30
MACROSS
銀河を繋ぐ歌声

© 2013 ビックウエスト

YF-29

Variable Fighter Durandal Valkyrie
YF-29 デュランダルバルキリー(イサム機)
Isamu Dyson Custom

YF-29 デュランダルバルキリー（イサム機）

INSTRUCTION MANUAL 取扱説明書

※画像はイメージです。

魂ウェブ商店
Bandai Collectors Shop

TAMASHI NATIONS

BANDAI

セット内容

■ 取扱説明書(本書)

ガンポッド

アサルトナイフ

ガンポッドジョイント

YF-29 デュランダルバルキリー(イサム機)

交換用
アンテナ
(硬質)

台座

ファイター用
支柱

ガウォーク用
支柱

バトロイド用
ジョイント

アームB

アームA

交換用手首

拳手首

武器用手首

手刀手首

矢印一覧

取り付けます。 Attachable

取り外します。 Removable

可動します。 Movable

■ 各パーツは取扱説明書(本書)の画像を参考に取り付けてください。
■ 取扱説明書の画像には試作品を使用しております。
■ 取扱説明書の画像と商品とは、多少異なりますのでご了承ください。

⚠注　意　お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

●本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
●小さな部品がありますので、小さなお子様が誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
●尖った部分や鋭い部分がありますので、取扱や保管場所に注意してください。思わぬケガをするおそれがあります。
●可動部の隙間には指などを入れないでください。はさまれてケガをするおそれがあります。
《 使用上の注意 》
●本商品は精密に作られています。無理な力を加えたり、落としたりすると破損するおそれがあります。
●関節部分を曲げたり回転させたりする時に、無理に動かすと彩色がはがれるおそれがありますので注意してください。
●本商品を樹脂製のソファーやシート、タイルなどの上に置かないでください。長時間接触していると色が移る場合があります。
●本体・部品を箱に戻す場合は、袋に入れてから戻してください。

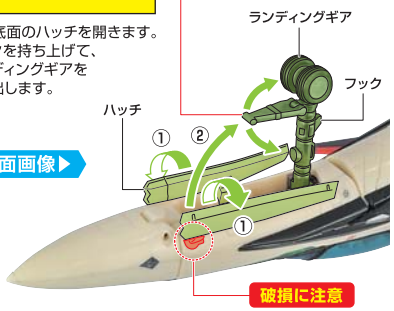
ファイター形態の組み立て方 ※箱に入った状態から始めます。

注意 変形時にダイキャストの部分が他の部分に当たったり擦れたりすると、ボディの塗装がはがれるおそれがありますので注意してください。

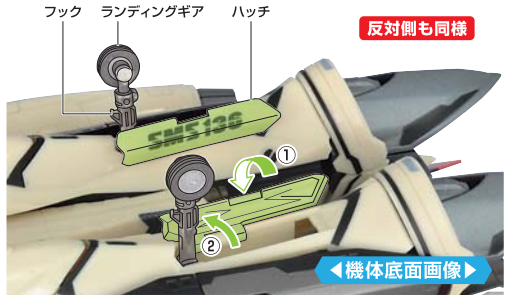
1 ①機首底面のハッチを開きます。
②フックを持ち上げて、ランディングギアを引き出します。

※カタパルトフックは可動します。

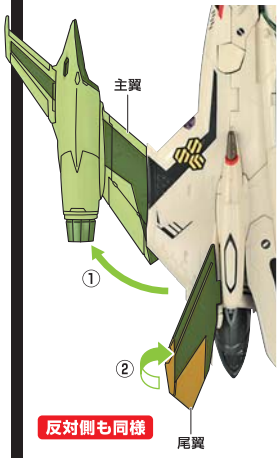
◀機体底面画像▶



2 ①機体底面のハッチを開きます。
②フックを持ち上げて、ランディングギアをそれぞれ引き出します。



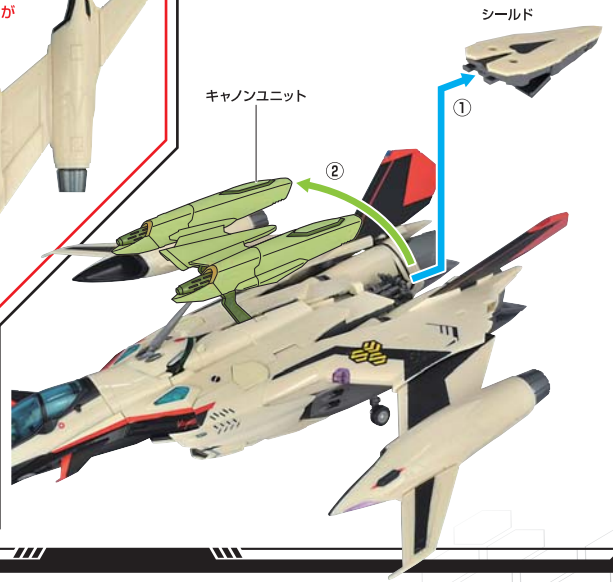
3 ①主翼を引き出します。
②尾翼を起こします。



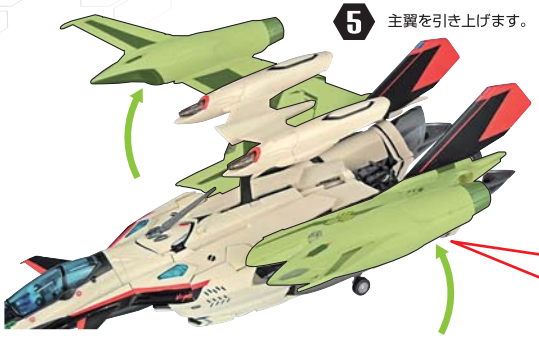
◀機体底面画像▶

※主翼は画像のアームが可動することで引き出すことができます。

4 ①シールドを取り外します。
②キャノンユニットを引き上げます。

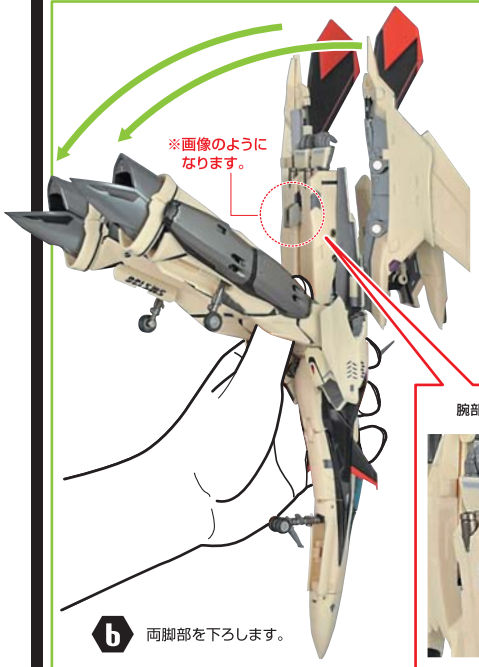


5 主翼を引き上げます。

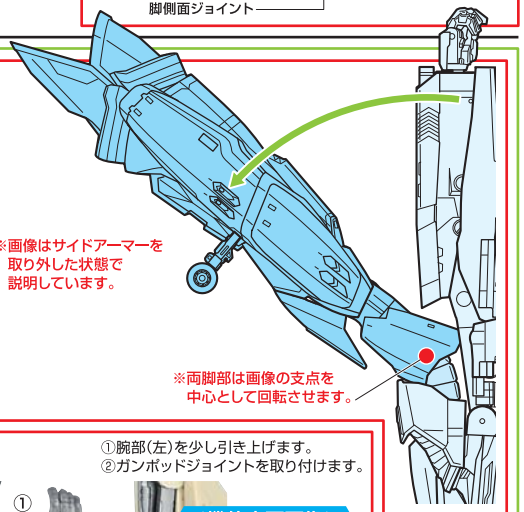


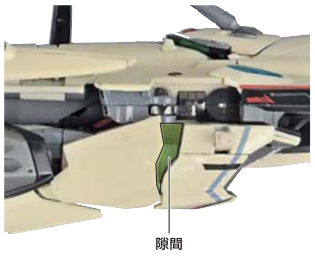
※主翼は脚側面ジョイントに固定されています。
取り付け、取り外しの際に注意してください。

◀機体底面画像▶

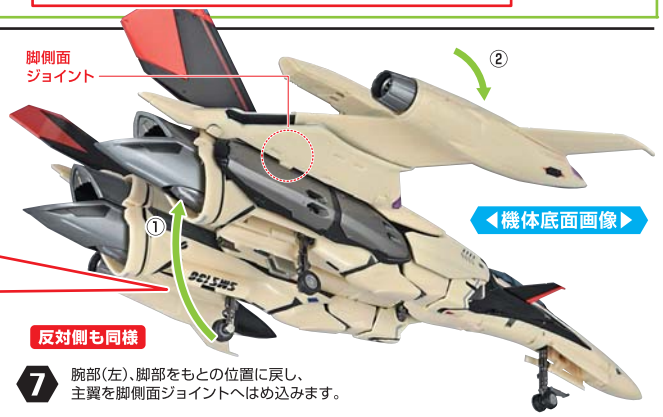


b 両脚部を下ろします。

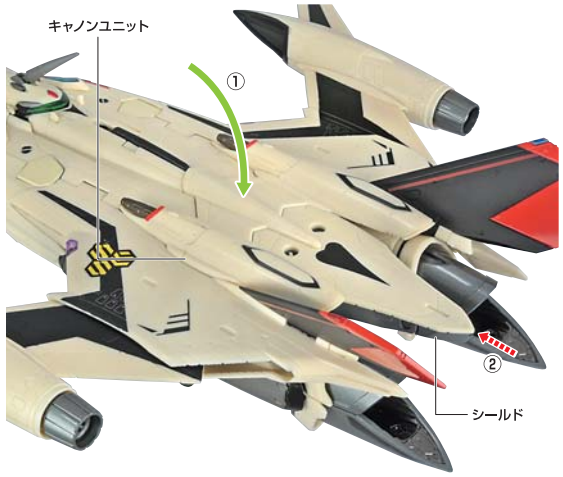




※脚部は画像のように少し隙間が開く位置に
します。戻す時は注意してください。
※サイドアーマーは取り外した状態で
説明しています。



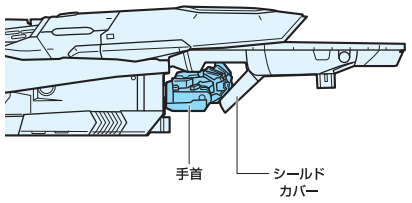
7 腕部(左)、脚部をもとの位置に戻し、
主翼を脚側面ジョイントへはめ込みます。



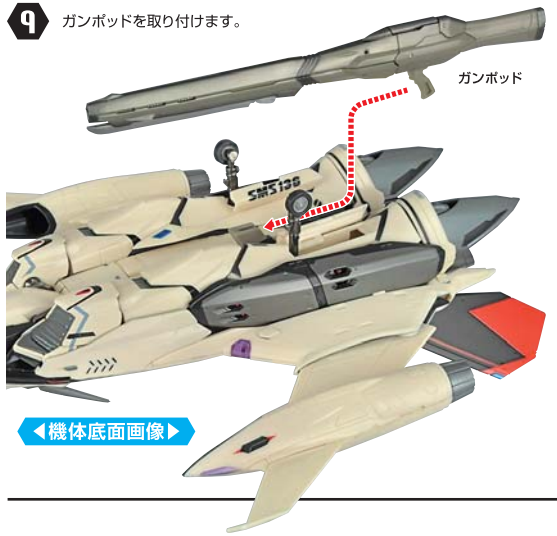
8 ①キャノンユニットをもとに戻します。
②シールドをもとに戻します。

※本体手首はシールドカバー内部に収納されます。

◀機体側面画像▶



9 ガンポッドを取り付けます。



※画像のようになります。

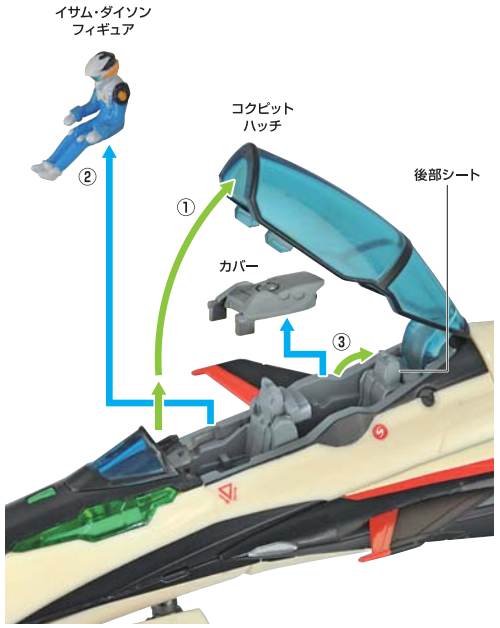
「ディスプレイ」はP.17を参照

反対側も同様

アンテナ(軟質)は取り外し、
交換用アンテナ(硬質)に
交換することができます。

破損に注意

①コクピットハッチを画像の矢印のように開きます。
②イサム・ダイソンフィギュアを取り外すことができます。
③操縦席後部のカバーを取り外し、後部シートを起こすことができます。



反対側も同様

反対側も同様

※エンジンポッドの翼は画像のように可動します。

※エンジンポッドは画像のように回転します。

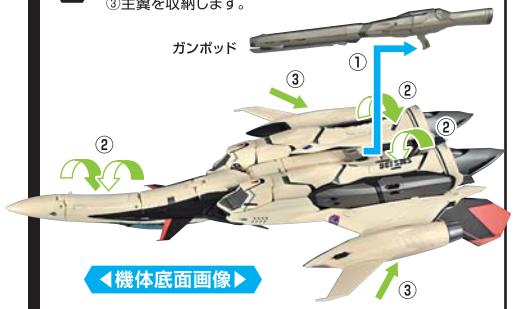
反対側も同様

ガウォーク形態への変形 ※ファイター形態完成の状態から始めます。

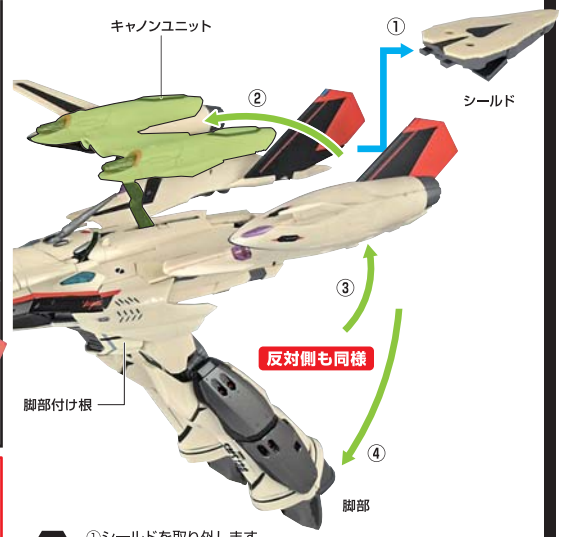
注意 変形時にダイキャストの部分が他の部分に当たったり擦れたりすると、ボディの塗装がはがれるおそれがありますので注意してください。

1

①ガンポッドを取り外します。
②前後のランディングギアを格納し、ハッチを閉じます。
③主翼を収納します。



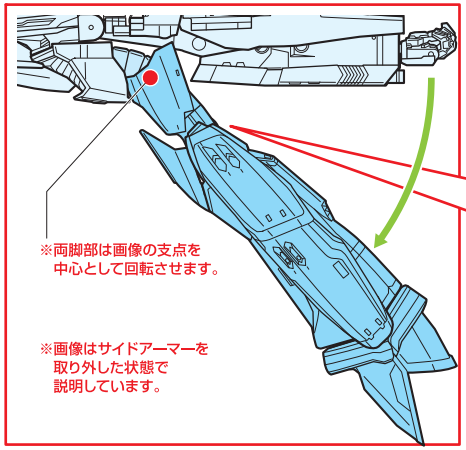
◀機体底面画像▶



反対側も同様

2

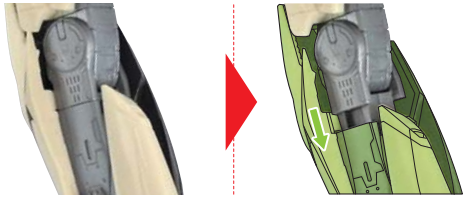
①シールドを取り外します。
②キャノンユニットを引き上げます。
③主翼を引き上げます。
④脚部を脚部付け根を軸に矢印の方向に回転させます。



※両脚部は画像の支点を
中心として回転させます。

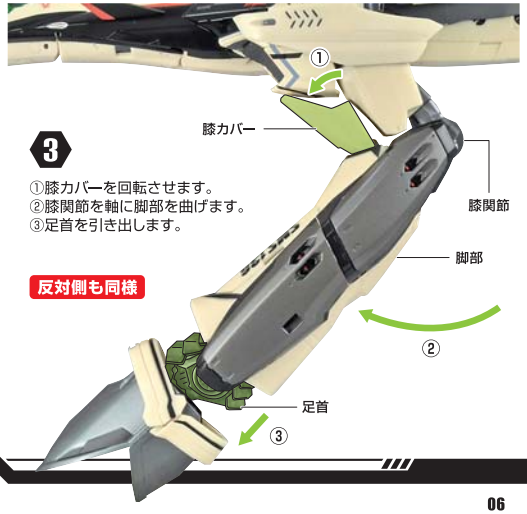
※画像はサイドアーマーを
取り外した状態で
説明しています。

膝関節を引き出します。



3

①膝カバーを回転させます。
②膝関節を軸に脚部を曲げます。
③足首を引き出します。



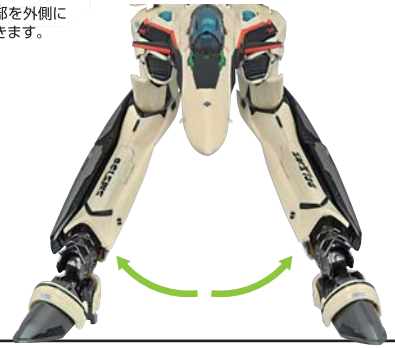
反対側も同様

4

つま先とかかとを
開きます。

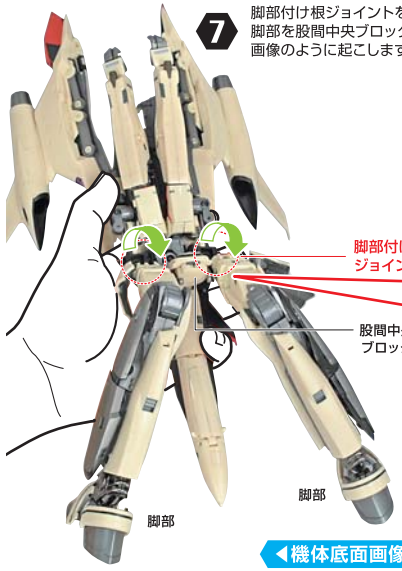
反対側も同様

5 脚部を外側に開きます。

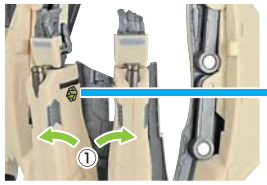


6 サイドアーマーを下げます。 **反対側も同様**

7 脚部付け根ジョイントを外し、脚部を股間中央ブロックごと画像のように起こします。

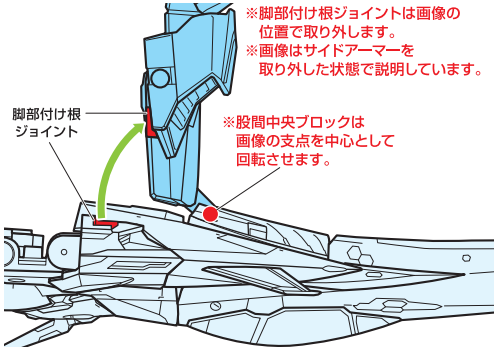


◀機体底面画像▶



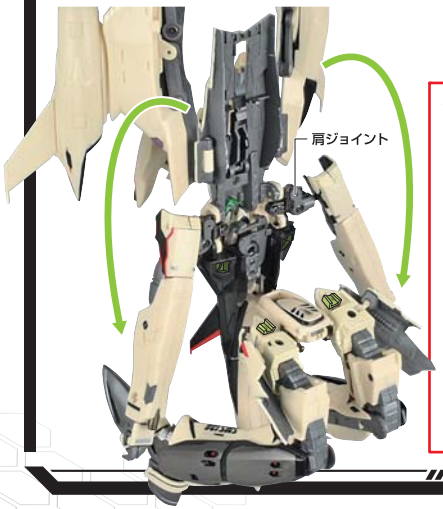
①両腕部を少し引き上げます。
②ガンポッドジョイントを取り外します。

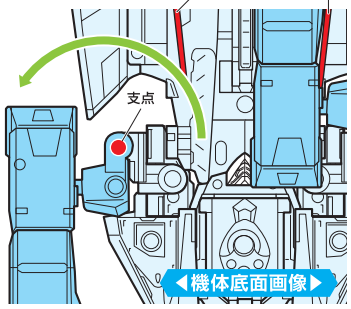
ガンポッドジョイント



※脚部付け根ジョイントは画像の位置で取り外します。
※画像はサイドアーマーを取り外した状態で説明しています。

8 両腕部を肩ジョイントを軸に前方まで回転させます。

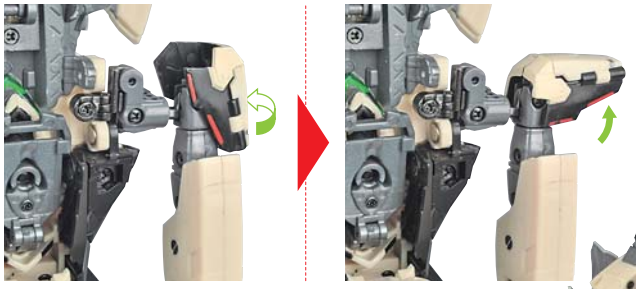




◀腕変形時の注意▶

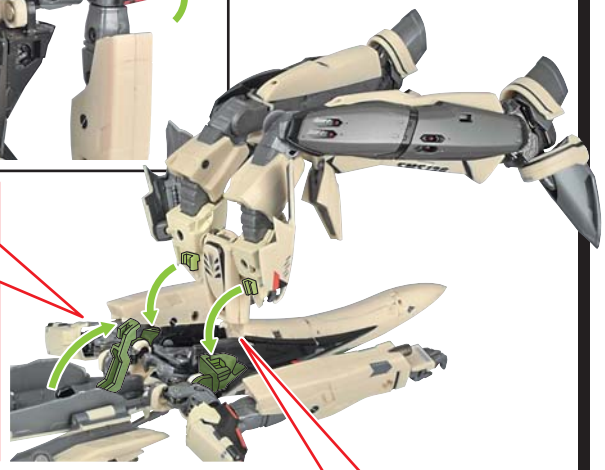
※腕を出す時に、肩アーマーの彩色部と、腕部収納ガイドが当たると傷が付きますので注意してください。

9 肩アーマーを画像のように起こします。



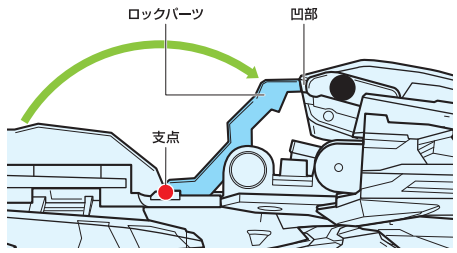
10 脚部付け根ジョイントをもとの位置に取り付けながら股間中央ブロックにロックパーツを持ち上げセットします。

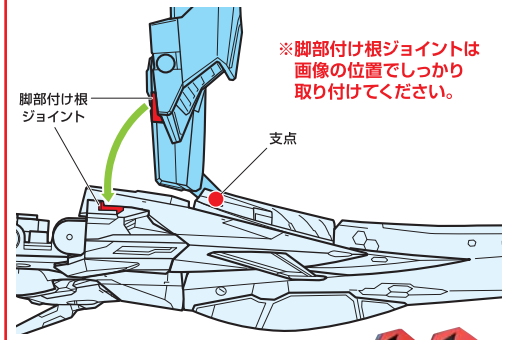
◀機体底面画像▶



※画像のようになります。

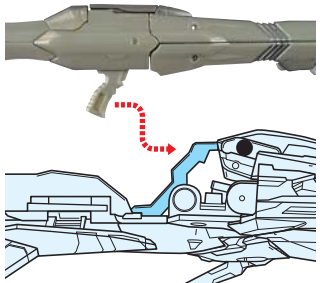
※ロックパーツを股間中央ブロックの凹部にセットします。
（凹部に先端を添えて、主翼ブロックを支えます。）
※画像は脚部と腕部を取り外した状態で説明しています。





※脚部付け根ジョイントは画像の位置でしっかり取り付けてください。

11 ロックパーツにガンポッドを取り付けます。



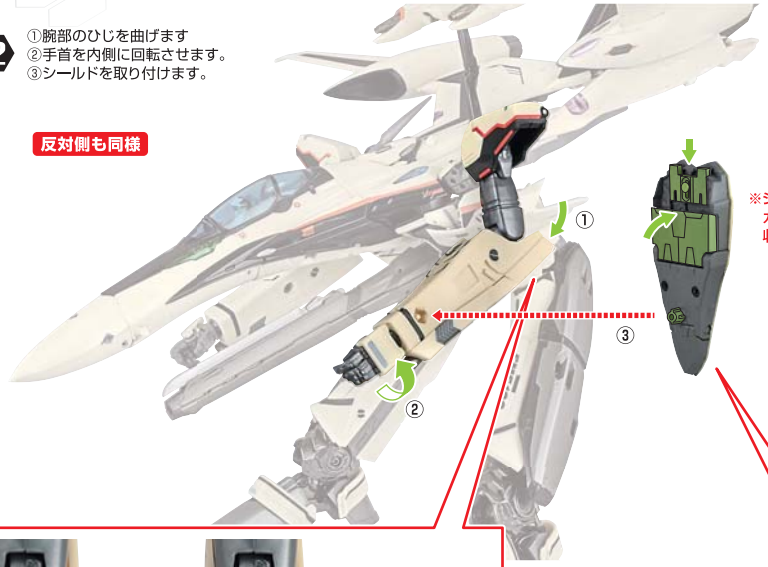
◀機体側面画像▶

※腕部・脚部は取り外した状態で説明しています。

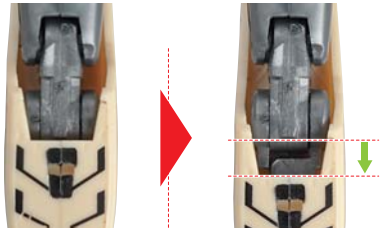
本体を立たせます。

12 ①腕部のひじを曲げます
②手首を内側に回転させます。
③シールドを取り付けます。

反対側も同様

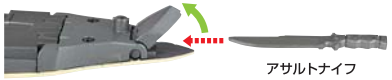


※シールドは画像のように
カバーとジョイント部を
収納します。



※ひじ関節を
引き出します。

※シールドにアサルトナイフを収納することができます。
画像のように先端を開いて収納してください。



アサルトナイフ

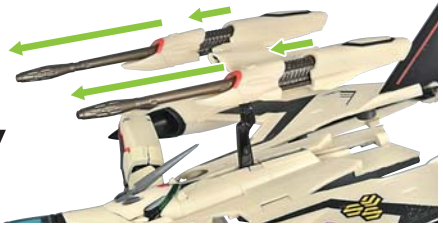
13 主翼とキャノンユニットを
もとの位置に戻し、
主翼を伸ばします。

完成!!

キャノンユニットの展開

引き出したキャノンユニットは回転します。

砲身を引き出すことができます。



手首の交換と武器の装備

ガンポッド

アサルトナイフ

反対側も同様

※他の手首も同様に取り付けることが
できます。

拳手首
（右）

手刀手首
（右）

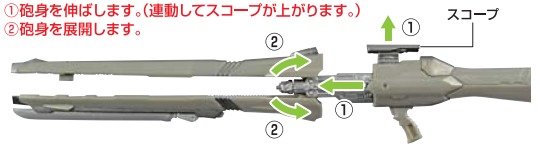
武器用手首
（右）

本体可動
手首(右)

本体右腕

※ガンポッドの銃剣は可動します。

①砲身を伸ばします。(連動してスコープが上がります。)
②砲身を展開します。



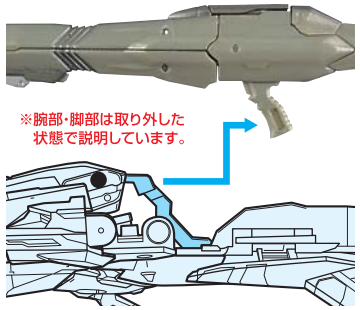
※スコープは可動します。

※砲身を戻す時はスコープの
角度を垂直に戻してから
行ってください。

「ディスプレイ」はP.17を参照

バトロイド形態の組み立て方 ※ガウォーク形態完成の状態から始めます。

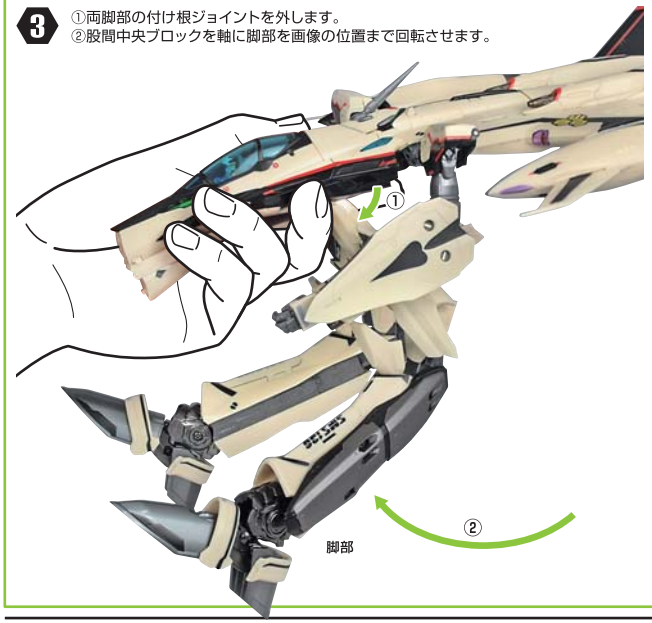
1 ガンポッドを取り外します。

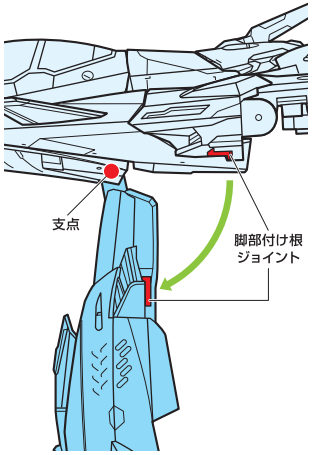


2 ①機首下のランディングギアのハッチを開きます。
②機首を折りたたみます。

※ハッチは画像の
ようになります。

3 ①両脚部の付け根ジョイントを外します。
②股間中央ブロックを軸に脚部を画像の位置まで回転させます。

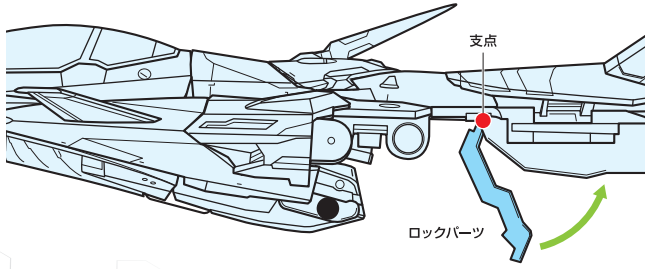




※両脚部は画像の支点を中心として
回転させます。
※脚部付け根ジョイントは画像の
位置で取り外します。

4 ロックパーツを収納します。

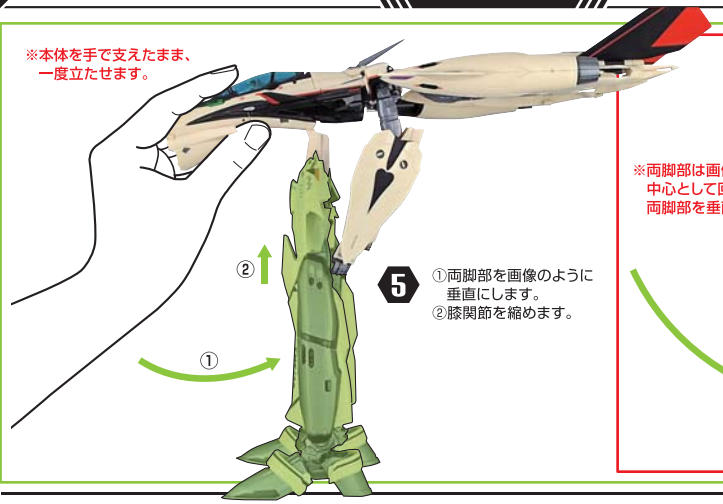
※各パーツは画像の支点を中心として回転させます。
※画像は脚部を取り外した状態で説明しています。



※画像のようになります。

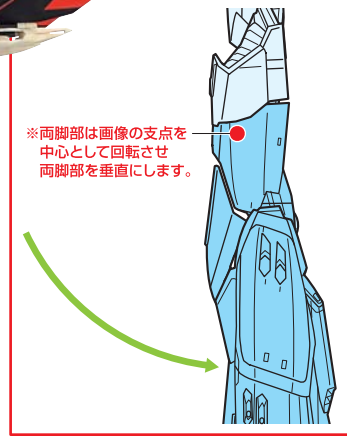
◀機体底面画像▶

※本体を手で支えたまま、
一度立たせます。



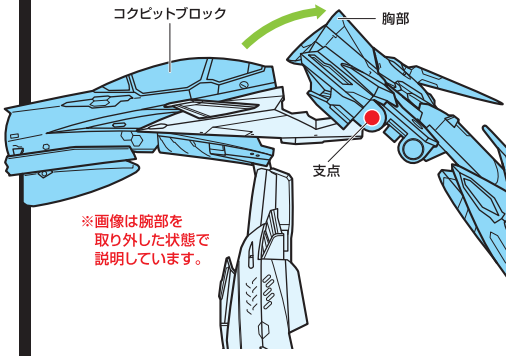
5 ①両脚部を画像のように
垂直にします。
②膝関節を縮めます。

※両脚部は画像の支点を
中心として回転させ
両脚部を垂直にします。



b 胸部を矢印の方向に折り曲げ、
コクピットブロックと分離させます。

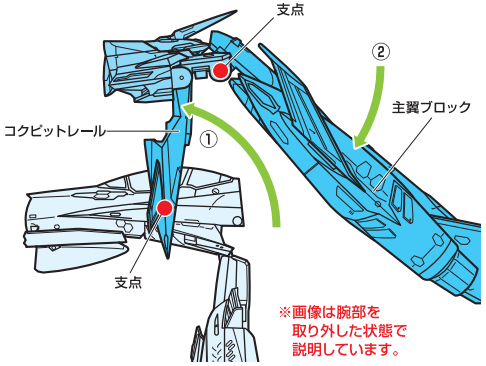
※胸部は画像の支点を中心として回転させます。



※画像は腕部を
取り外した状態で
説明しています。

7 ①コクピットレールを軸に胸部を引き上げます。
②主翼ブロックを画像の位置まで後方に折り曲げます。

※胸部と主翼ブロックは画像の支点を中心として回転させます。



※画像は腕部を
取り外した状態で
説明しています。

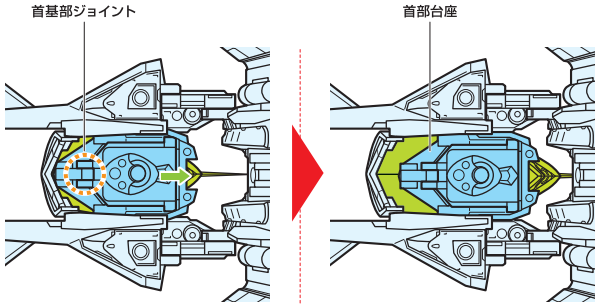
◀胸部側面画像▶

※首基部ジョイントは画像のようになります。

8 胸部裏面から首基部ジョイントを
押し上げ、頭部を引き出します。

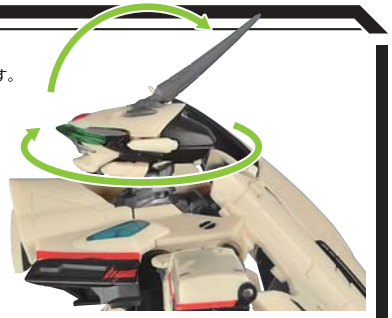
※首基部ジョイントは画像の部分を
押し上げてスライドさせます。

◀胸部底面画像▶



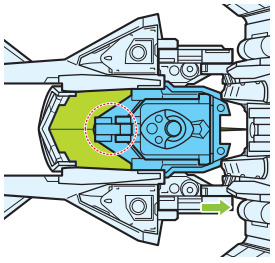
9 首を伸ばします。

10 頭部を回転させて
アンテナを起こします。



※首基部ジョイントは
画像の部分を押し上げて
スライドさせます。

◀胸部底面画像▶

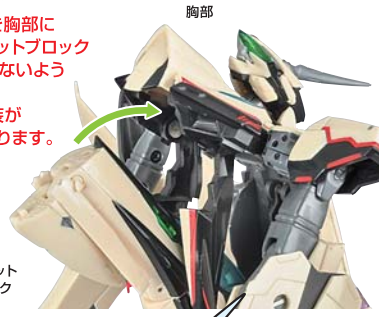


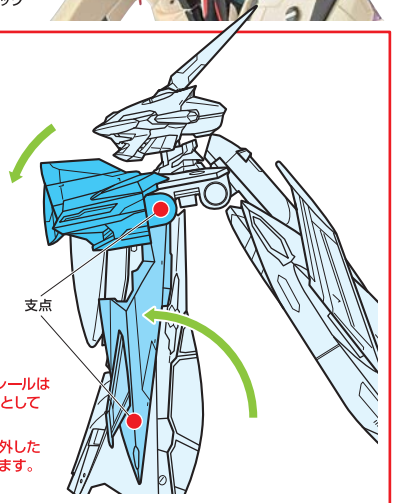
11 さらに胸部裏面から首基部ジョイントを
押し上げて首部台座を上方に
スライドさせます。

◀胸部側面画像▶

12 コクピットブロックを
胸部に収納します。

※コクピットブロックを胸部に
収納する時にコクピットブロック
先端が胸部に当たらないよう
注意してください。
ボディが破損し、塗装が
はがれるおそれがあります。

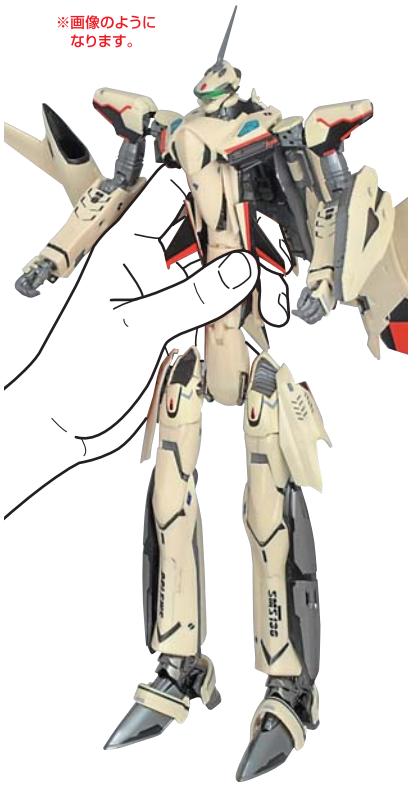




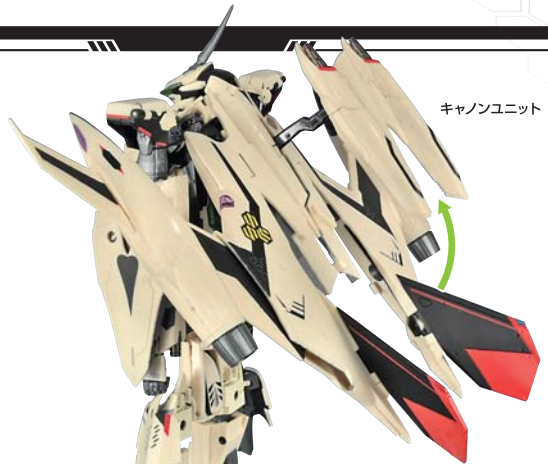
※胸部とコクピットレールは
画像の支点を中心として
回転させます。

※画像は腕部を取り外した
状態で説明しています。

※画像のように
なります。



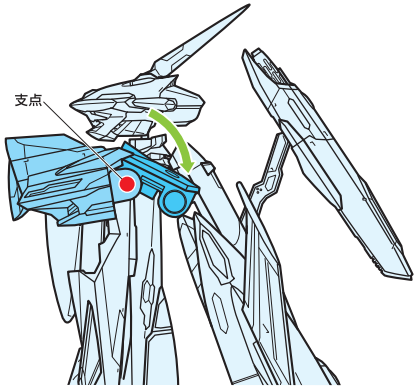
13 キャノンユニットを引き出します。



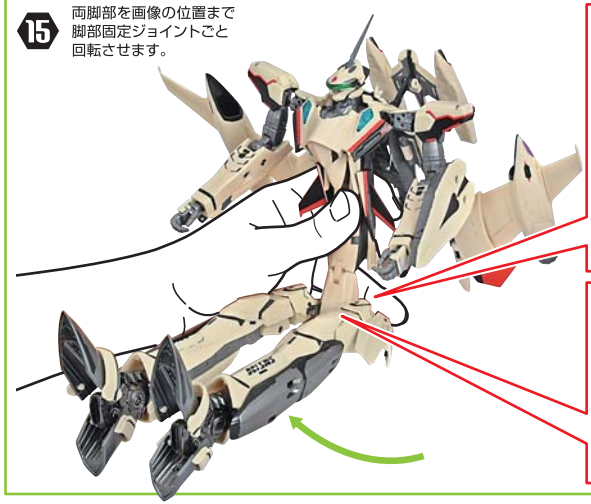
14 両肩のプレートを下げます。

反対側も同様

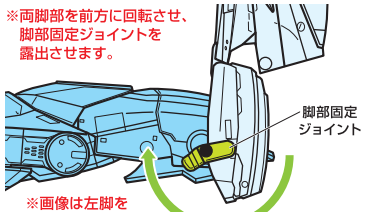
※プレートは画像の支点を中心として回転させます。
※画像は腕部を取り外した状態で説明しています。



15 両脚部を画像の位置まで
脚部固定ジョイントごと
回転させます。



※両脚部を前方に回転させ、
脚部固定ジョイントを
露出させます。

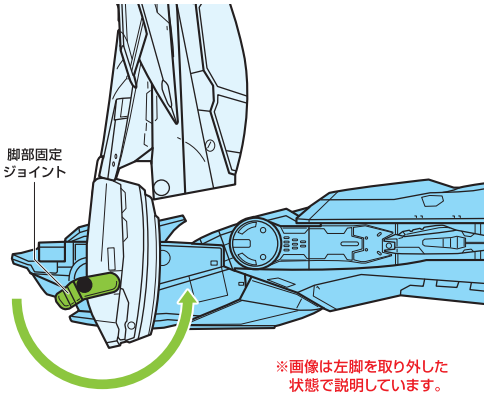


※画像は左脚を
取り外した状態で
説明しています。

※脚部固定ジョイントが引き出されて
いることを確認します。

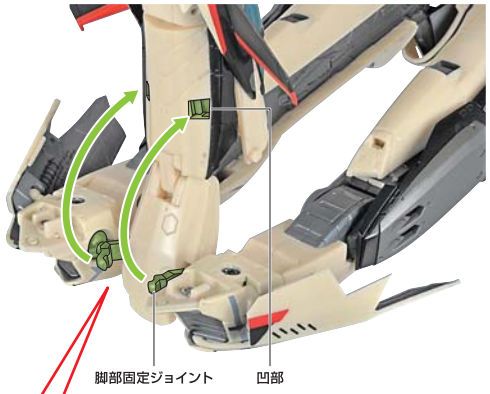
16 脚部固定ジョイントを固定したまま、両脚部を後方へ回転させます。

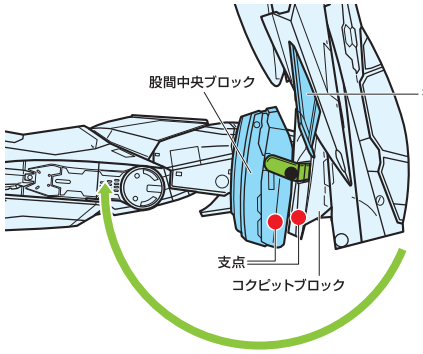
※片脚を付け根から押さえたまま、反対側の脚を回転させるとやりやすくなります。



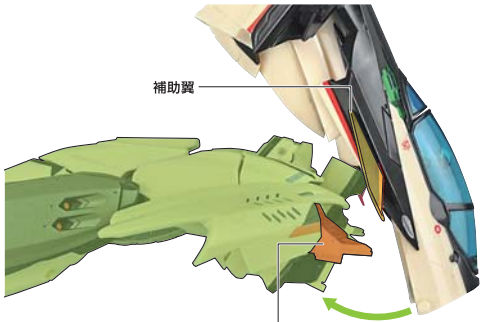
※画像は左脚を取り外した状態で説明しています。

17 脚部固定ジョイントをコクピットブロックの凹部へ取り付けます。





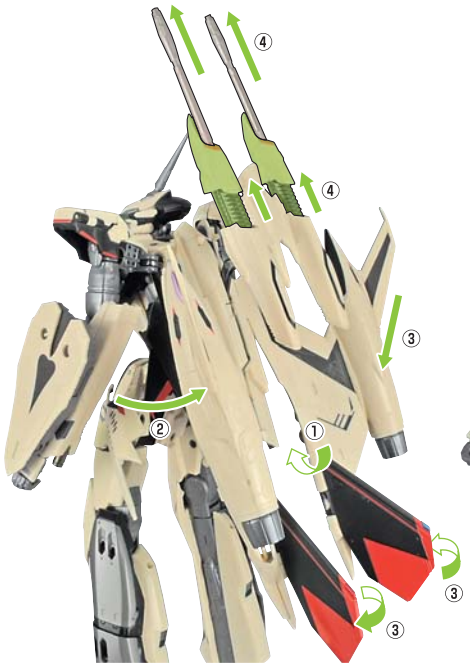
股間中央ブロックを180度回転させて、脚部固定ジョイントをコクピットブロックに取り付けます。



18 コクピットブロック底面のジョイントを外します。

19 脚上部と補助翼がぶつからないように両脚部を下ろします。

20 頭部側面パーツ(左右)を起こします。

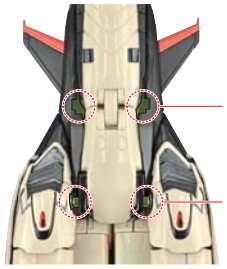


21 ①主翼ブロックを下ろし、画像のように後方に曲げます。
②主翼を後方へたたみます。
③主翼を縮めて尾翼をたたみます。
④キャノンユニットの砲身を伸ばします。

完成!!

「ディスプレイ」はP.18を参照

ディスプレイ



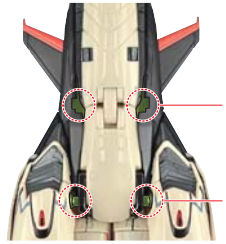
コクピット
レール位置

脚部関節位置

※画像の各部に固定して取り付けます。

※ガンポッドは画像の
ようになります。

◀ファイター形態▶

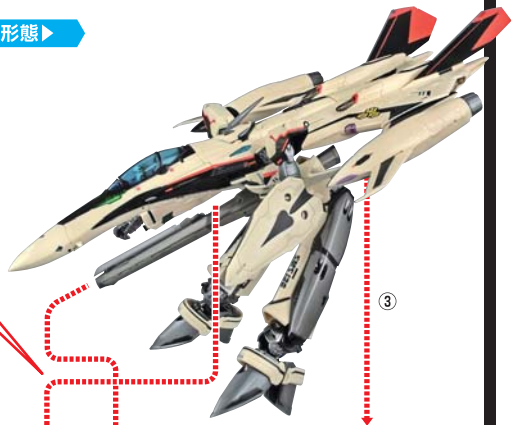


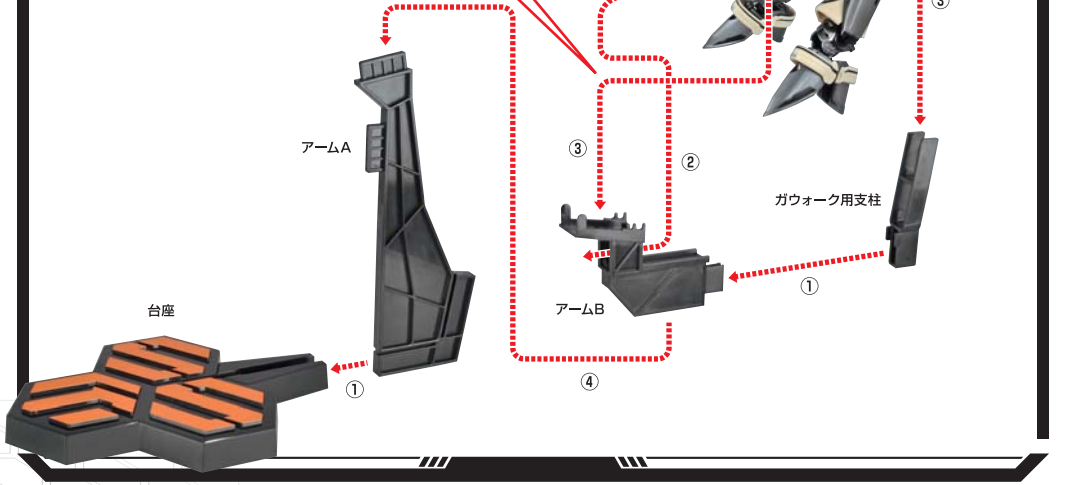
コクピット
レール位置

脚部関節位置

※画像の各部に固定して取り付けます。

◀ガウォーク形態▶



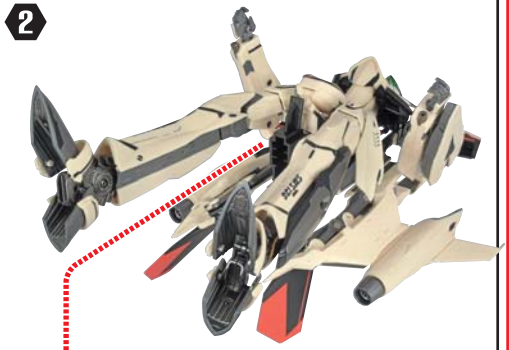


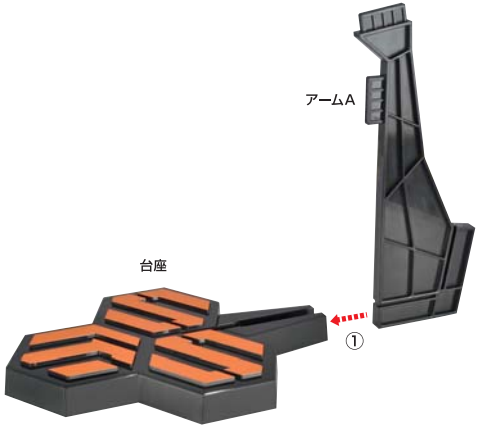
◀バトロイド形態▶

1 バトロイド用ジョイントを
取り付けます。

バトロイド用
ジョイント

2





※各形態は画像のようになります。

YF-29

Variable Fighter Durandal Valkyrie
YF-29 デュランダルバルキリー（イサム機）
Isamu Dyson Custom

FIGHTER

Epoch-making mobility was acquired with reactive turbine engine installed at the adoption, the airframe, and both ends of the "Forward Swept Wing FSW " that enabled a variegated, aerodynamic mobility.

GERWALK

There is no obstacle in the actual combat despite the limited motion range of the arms due to the main wing layout. The upper part of the airframe has the MDE beam cannon built-in which is adopted by the TORNADO PACK.

BATTROID

BATTROID FORM also looks like the basic structure of the transmutation system almost similarly to VF-25. The MDE beam cannon can be used by developing even in the BATTROID FORM.

※機体解説は作品中のものです。